

館山塾 古文教材（第三期 演習問題 第一回）、

早稲田大学第一文学部 古文問題と合致！

古典Aクラス在籍十五名中五名が早稲田一文に合格！

「先生！出ました！あの琴の爪を落とした話！」受験当日に続々入った生徒達の声に、全員合格を確信しました。『大鏡』のややこしい話ですから、ストーリーを知っているといかないのでは解答スピードが全然違ってくると思います。しかも、「知っている問題が出た！」という幸運によって思考もスムーズに働きます。古典Aクラス十五名在籍中、早稲田一文だけで五名の合格者です！

二〇〇六年度 早稲田大学第一文学部問題 抜粋 (三) 古文 『大鏡』

昔も、かかりけること多く侍りけるなかに、極楽寺・法性寺ぞいみじく侍るや。芹河の行幸せしめたまひけるに、昭宣公、童殿上にて仕うまつらせたまへりけるに、帝、琴をあそばしける。この琴弾く人は、別の爪つくりて指にさし入れてぞ弾くことにて侍りし。さて持たせたまひたりけるを、落としおはしまし、A 思し召しけれど、またつくらせたまふべきやうもなかりければ、① さるべきにてぞ思し召しよりけむ、B 人々にも仰せられずて、幼くおはします君にしも、「求めてまぬれ」と仰せられければ、御馬をうち返しておはしましけれど、いづくをはかりともいかでかは尋ねさせたまはむ。見つけてまぬらせざらむことのいといみじく思し召しければ、これ求め出でたらむ所には一伽藍を建てむと、願じ思し召して、求めたまひけるに、出できたる所ぞかし、極楽寺は。幼き御心に、いかでか思し召しよらせたまひけむ。さるべきにて御爪も落ち、幼くおはします人にも仰せられるにこそは侍りけむ。さて、C ならせたまひて、御堂建てさせに御車に、貞信公はいと小さくて具したてまつりたまへりけるに、法性寺の前わたりたまふとて、「父こそ。ここにこそ、よき堂所なめれ。ここに建てさせたまへかし」と聞こえさせたまひけるに、いかに見てかくいふらむと思して、さし出でて御覧ずれば、まことにいとよく見えければ、幼き目にいかでかく見つらむ、さるべきにあらめと思し召して、「げにいとよき所なめり。汝が堂を建てよ。われは② しかじかのことのありしかば、そこに建てむざるぞ」と申させたまひける。さて法性寺は建てさせたまひしなり。

設問は次のページです。

問一、空欄AとCに入る最も適当な語を、それぞれ次から選べ。但しいずれも空欄の箇所にはふさわしく活用させた語形が入るものとする。また同じ記号を二度以上用いてはならない。

イ、うし    ロ、おとなし    ハ、大事なり    ニ、なべてなり    ホ、やんごとなし

問二、傍線①の内容として最も適当なものを次の中から選び、その記号を答えよ。

- イ、昭宣公をみかどがその場から遠ざけようとしたこと。
- ロ、昭宣公がみかどのそばから逃げだそうとしたこと。
- ハ、昭宣公がその地に寺を建立する宿縁であったこと。
- ニ、昭宣公がものをさがすのにたくみであったこと。
- ホ、昭宣公が幼くてものをたのみやすかったこと。

問三、傍線②の内容として最も適当なものを次の中から選び、その記号を答えよ。

- イ、一族の先人達も先祖の霊の供養のために寺を建立したいと望んでいたこと。
- ロ、琴の爪を見つけられたらそこに寺を建立するという願を昭宣公が立てたこと。
- ハ、幼い貞信公が寺をたてるのによい場所だと言って建立をすすめたこと。
- ニ、幼いころ、昭宣公がみかどの琴の爪を落としてさがしたこと。
- ホ、琴の爪をさがすためにみかどが寺院建立の願を立てたこと。

問四、本文の内容と合致するものを次の中から選び、その記号を答えよ。

- イ、貞信公は幼いころ法性寺の前を通り、よい土地にたてられた寺だと言った。
- ロ、昭宣公につかえていた琴のたくみな童が琴の爪を落としてしまった。
- ハ、昭宣公は幼い貞信公のことばにもとづいて法性寺を建立した。
- ニ、昭宣公は幼いころの立願をかなえるために極楽寺を建立した。
- ホ、浄妙寺は東三条のおとどが先祖の供養のために建立した。

### 解答

問一、 A、ハ（大事に）                      B、ロ（おとなしき）                      C、ホ（やんごとなく）

問二、    ハ

問三、    ロ

問四、    ニ

できはどうでした？問三、四辺りの内容把握の問題は、ストーリーを知っていれば、簡単にできる問題です。古文は練習していれば、必ず報われる科目です。すぐに練習を始めましょう！